

令和5年度「南城市幼小連携事業」活動記録簿
馬天保育園公開保育及び合同研修会 令和5年8月18日(金)

幼小連携アドバイザー	伊集 恒子	実施場所	馬天保育園・南城市役所
実施日時	公開保育9時10分～9時50分 合同研修会10時10分～12時		
目的	保育園の公開保育を通して幼児期の発達や学びを理解し、「子どもの姿を中心に」保幼小中の先生方が語り合い切れ目のない教育を目指す。		
対象者	馬天小学校・佐敷小学校・佐敷中学校・馬天小学校区、佐敷小学校区幼児教育施設の職員、その他		
参加者	保育施設18名、小中7名、その他1名、行政8名、計38名		

1 内容

〈公開保育〉馬天保育園 9:00～ 9:50*保育参観終了後南城市役所へ移動



〈合同研修会〉南城市役所 10:10～12:00 司会：子ども保育課係長



2 成果（馬天保育園）

- ・子ども達が自由に好きな遊びに集中したり、友達と協力したりしながら遊びを展開することができ、遊びこむ環境を確立できた。
- ・子どもたちが遊びこめる環境について考えるいい機会となり、環境の大事さに気づいた。

3 課題（馬天保育園）

- ・子ども達の創造力や探究心が育つような環境。遊びこむための関わりが不十分であると痛感した。

4 改善策（馬天保育園）

- ・子ども達の発達に応じて遊びを工夫しながら環境を改善していく。子どもの姿から環境を整える。
- ・安全面について共有をしていく。（一日の時間配分や職員の配置等の工夫をしていく）

5 指導助言

〈大事にしたいこと〉

- ・子どもと対話する→保育者の声量、子どものつぶやき、広げる、安心感
- ・環境を整える→おもちゃは、いつ、どのくらい必要なのかを考える
- ・援助→保育者はどの遊びを発展させたいのか、願いをもつ、保育者は子どものパートナーなる

6 その他 *参加者からの学びや感想

- ・わらのお家で、家賃なども話し合っていて遊びを楽しんでいる。その中で作りたいものがあったら廃材コーナーから材料を見つけ作っている。遊びがさらに広がっていた。約1時間ずっと集中して自分がイメージしたものを製作し、遊び込み集中する姿が見られた。
- ・オタマジャクシのビオトープ、わらの家、絵本からのアイスパーティー。子どもの願いや、イメージに寄り添い実現できるよう援助を行っている。中学校ではなかなかできないけど、改めて大切なことに気付くことができた。
- ・中学校の校長先生も参加されていて、保育園での課題や小学校以降について欲しいこと等の意見が聞けたので良かったです。

